

第19回東海地域大学男女ソフトボール選手権大会
兼・第57回全日本大学(男子・女子)ソフトボール選手権大会東海地区最終予選会

競技上の注意

1. 競技規則

- ・2022年(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールによる。

2. 試合運営方法

- ・変則トーナメント方式による。(別紙組合わせ表)
- ・サスペンデッドゲームを採用する。
- ・試合開始時間 8時45分
- ・試合前のフィールドイングは実施しない。
- ・試合中のボール回しは無
- ・状況に応じて投球練習の球数を制限する事もある。
- ・試合間の20分間で実施する縦ノックは認める・
- ・イニング間のダッシュ、素振り、野手のキャッチボールは認める。

3. 選手の集合時間

- ・前試合の4回終了時、又は試合開始予定時刻の30分前にまでに当該球場に集合すること。

4. 打順表の記入と提出

- ・試合開始予定時刻の30分前、または前の試合の4回終了時にあらかじめ配布された打順表(6枚1組)に、必要事項(控えを含む当該試合に出場予定の選手全ての氏名、ふりがな)を記入し、監督自らが確認してサインしたものを当該球場本部に提出すること。
- ・最初の打順表は、事前に配布されたものを使用し、その後の試合についてはチームが当該球場本部の記録席まで取りに行くこと。
- ・打順表に記載のない選手は、出場できない。
- ・打順表は、審判員・記録員による照合確認の後、各チームに返却する。

5. 試合球

男子:ナガセケンコー(株)社製公認革ボールとし、主催者が準備する。

女子:アメアスポーツジャパン社製公認革ボールとし、主催者が準備する。

6. 先行・後攻の決定

- ・打順表提出時に、審判員のコイントスによって決定する。
- ・コインの選択権は打順表の先着チームにあたる。

7. 競技者席

- ・組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- ・ベンチに入れる人員は、参加申込書に記載・登録された者とする。

8. フィールドイング

- ・実施しない。

9. 競技用具

- ・規格外、あるいは安全性に問題のあると思われるものは、使用を認めない。
- ・使用を認められなかった用具は、試合終了まで、各球場の審判席で預かる。

10. 試合開始

- ・集合準備の合図でベンチ前に一列横隊で整列する。

11. 攻守交替・選手交代

- ・すべて駆け足で迅速に行うこと。
- ・選手の交代は、監督から球審に速やかに行うこと(退く者から告げること)。

12. 攻守交代時のボール

- ・特に支持のない場合は、ピッチャープレート付近に置くこと。
- ・試合が終了した時は、審判員に渡す。

13. その他

- 雨天時の試合の有無については、午前6時以降に決定する。東海地区大学ソフトボール連盟 facebook、Instagram、上に公開するので、確認すること。
- 雨天時でも、その後の天候やグラウンド状況によって、時間を遅らせて試合を行う場合があるので、大会本部からの連絡に注意すること。
- 試合が不可能な場合は、大会本部の指示に従うこと。
- 雷鳴が聞こえたら、直ちに試合を中断する。試合再開は、雷鳴が止んで20分経過後とする。

第19回東海地域大学男女ソフトボール選手権大会要項
一兼、第57回全日本大学(男・女)ソフトボール選手権大会 東海地区最終予選会一

1. 主催 催 東海ソフトボール協会・東海地区大学ソフトボール連盟
2. 共催 催 各務原市ソフトボール協会
3. 主管 岐 岐阜県ソフトボール協会・各務原市ソフトボール協会
4. 後援 岐 岐阜県・岐阜県スポーツ協会・岐阜県教育委員会・中日新聞・岐阜新聞・岐阜放送
5. 期日 5月28日(土)、29日(日)、6月4日(土)、予備日6月11日(土)
6. 会場 男子：各務原市総合運動公園ソフトボール場A面 練習会場 B面・D面
女子：各務原市総合運動公園ソフトボール場F面 練習会場 G面・H面
7. 開 会 式 (公財)日本ソフトボール協会からの指示で本年度は行わない
8. 閉 会 式 競技終了後、大学選手権大会の出場権を獲得したチームにより各会場において行う。
9. 参 加 資 格 2022年度(公財)日本ソフトボール協会に登録された大学チームで、春季リーグ戦の結果による男女各上位8チームとする。
10. チーム編成 チーム編成は、部長1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、登録選手とする。また、監督・コーチが選手を兼ねる場合は選手登録をすること。
※部長、トレーナー、主務、通訳各1名のベンチ入りを認める。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は公式記録員の有資格者であること(胸にワッペンを着用すること)
※チームの中に次の①、②、③、④いずれかの資格を有する者がいること。
①ソフトボールコーチ 1~4、②準指導員資格、③スタートコーチ(学生が監督・コーチとして登録する場合のみ)、④その他東海学連が指導者資格として認めたもの
11. 競技規則 2022年度オフィシャルルールに準じて実施する。
12. 試合方法 変則トーナメント方式による。(別紙)
サスペンデッドゲームを採用する。
ベンチは若番のチームが一塁側、攻守決定はコイントスとする。
13. 試合球 男子：ナガセケンコー(株)社製公認革ボールとし、主催者が用意する。
女子：アメアスポーツジャパン社製公認革ボールとし、主催者が用意する。
14. 参加料 30,000円
15. 表彰 優勝チームに優勝杯(持ち回り)と表彰状、準優勝・第3位チームには表彰状を授与する。
16. 大学選手権大会の代表選考 男子：上位4チームに与える。 女子：上位5チームに与える。
男女ともリーグ戦優勝チームは本大会の結果を以て代表順位を決定する
17. 申込方法 出場資格を得たチームは、
・リーグ戦に設定されている5月15日の予備日を使用しない場合は5月10日(火)16時まで
・リーグ戦に設定されている5月15日の予備日を使用した場合は5月17日(火)16時まで
2022登録ファイルの「大会申込書」シートに必要事項を記入し、下記宛送付すること。
西井春菜 東海学連事務局長 <nishii@n-fukushi.ac.jp>
なお、参加料についても5月17日(火)までに下記へ振り込むこと。
【振込先】金融機関：岐阜信用金庫 各務原支店
口座番号：普通 0998945
口座名義人：各務原市ソフトボール協会
18. 監督会議 (公財)日本ソフトボール協会からの指示で本年度は行わない。
19. 傷病事故 主催者・管理者は、応急処置の他は本大会における傷病・事故等の一切について責任を負わない。
(保険証を持参し、損害賠償保険にも加入しておくこと)また、試合中のプレーやアップ中の行為によって損害賠償が生じるような事故が発生した場合は、当該チーム・個人が加入している損害賠償保険などによって対応すること。
20. 感染防止 ①「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策、対応、対処ガイドライン」及び「(同名)マニュアル」に沿って各チームは対応すること。
②試合前後のミーティングなどはできる限り避ける。試合終了後は集合等せずに各自車両等に乗込み、ミーティングを催す際はWEB上の方法などを用いることを推奨する。
③各参加チームは当該チームの試合後に「新型コロナウイルス感染症対策消毒・洗浄マニュアル」に沿って施設や道具の消毒・洗浄を行うこと。
④「新型コロナウイルス感染症に関わる健康チェックシート回答一覧表(紙媒体での回答用紙)」を作成して両日とも試合会場に持参し、西井東海学連事務局長または三谷同学連事務局次長に手渡すこと。
観客については社会情勢・感染状況により、主管協会・管理主体と検討・決定し東海学連公式SNSを通じて周知する。
21. その他 ①本大会に関する問い合わせ先
東海学連：西井事務局長 <nishii@n-fukushi.ac.jp>
大会本部：東海ソフトボール協会・各務原市ソフトボール協会
事務局長：岐阜県ソフトボール協会事務局長
鈴木 一 〒501-0603
岐阜県揖斐郡揖斐川町上南方545-13
TEL：090-8679-5518
各務原市ソフトボール協会事務局長
吉村 訓 〒509-0145
各務原市鵜沼朝日町5-84
TEL：090-3562-1634
②荒天の場合は午前6時以降に東海地区大学ソフトボール連盟の公式Facebook、Instagram上にて確認すること。